



係員 P.35
令和6年採用職員からのメッセージ



大臣官房 秘書課
人事企画担当
千葉 翔子
[令和2年入省]

係員 P.23
職員の日

財務省の キャリアパスを知る

第2部



理財局
国債業務課
長期国債係
馬塚 元希
[令和2年入省]

主計局
総務第一係
原本 真由
[令和4年入省]

大臣官房 会計課
契約第二係
盛山 桃花
[令和5年入省]

国際局 調査課
外国為替室
中島 悠人
[平成30年入省]

係員 P.31
若手職員座談会



四国財務局長
大島 朗
[昭和58年入省]

幹部職員 P.20
キャリアパス/幹部職員

CAREER PATH

財務省のキャリアパスについて

入省1年目～

係員

財務省職員として必要な知識・技術を自ら学ぶとともに、上司の指示・指導のもと政策の立案・実施の基礎をなす業務を着実にを行う。

入省8年目～

係長

専門的な知識・技術を身に付け、担当する政策の立案・実施の実務に自律的に取り組むとともに、部下の指示・指導や担当業務全体のチェックなど係のマネジメントを行う。

入省17年目～

課長補佐

高度の専門的な知識・技術と豊富な経験に基づき、担当する政策の立案・実施の実務において調整や判断を行う役割を果たすとともに、部下の指導・育成や業務改善などチームの適切な運営を担う。

★★★

幹部職員

大局的な視点で政策の立案・実施の構想を描き、組織の先頭に立ってその実現を指揮するとともに、人材育成や組織資源の最適配分などの高度のマネジメントを通じて、業務運営の効率化と成果の最大化を図る。



理財局
国有財産調整課
宿舍予算係
曳野 晃太
[令和5年入省]

理財局 総務課
文書係
落合 祐太
[令和6年入省]

係員 P.24
メンター制度



国際局 開発機関課
開発機関第一係
井 咲乃
[令和2年入省]

係員 P.26
研修制度



中国財務局 管財部
国有財産鑑定官心得
兼 統括国有財産
管理官付
木村 聖哲
[平成30年入省]

係員 P.21
出向者からのメッセージ



理財局
内閣・財務係
調査主任
佐竹 千尋
[平成29年入省]

係長 P.19
キャリアパス/係長



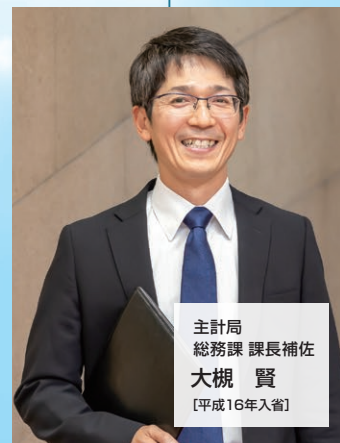
主計局 司計課
司計第五係係長
染谷 隼
[平成29年入省]

係長 P.30
ワークライフバランス制度



国際通貨基金(IMF)
能力開発局
シニアテクニカル
アシスタンスオフィサー
川野 晋平
[平成22年入省]

係長 P.21
出向者からのメッセージ



主計局
総務課 課長補佐
大槻 賢
[平成16年入省]

課長補佐 P.17
キャリアパス/課長補佐



主計局 総務課
課長補佐
大槻 賢
OTSUKI Satoshi
[平成16年入省]

主計局長
宇波 弘貴
UNAMI Hirotaka

主計局長を支える立場として



宇波主計局長と初めて一緒に仕事をしたのは、私が主計局厚生労働係の係長の時でした。当時、宇波局長は厚生労働第一担当主計官で、私は上司の主査と共に主計官を支える立場でした。それが8年の月日を経て、今度は予算編成の指揮を執る主計局長を支える立場として、再び一緒にさせていただくこととなりました。

主計局長は首相官邸、国会、議員会館等を回り、予算策定に向けた様々な調整を行います。私

は資料を持って同行し、スケジュール管理をしながら主計局長の業務をサポートします。資料持ちひとつ取っても、求められた時に必要な資料を直ぐに渡せる周回準備と、豊臣秀吉の「草履取り」のような行き届いた心遣いが必要となります。主計局は、局長による陣頭指揮の下、職員が丸となって予算編成を行っていく組織ですので、私は主計局長を側で支える黒子に徹することを日々心掛けています。

係員時代

係員は、財務省職員としての仕事への向き合い方を学ぶ様々な経験をした時代でした。入省後、基礎研修、数か月の秘書課勤務を経て配属された理財局では、国債管理政策の業務を担当しました。証券会社のディーラー等へのヒアリングを通じて債券市場の動向を日々チェックするため、マーケットに関する専門的な会話ができるよう研修等を活用して必死に勉強しました。

その後、主計局に異動し、初めて予算査定を経験しました。要求官庁とヒアリングをしながら予算の中身を精査していくのですが、「自分の査定を国民に説明できるようにする」等の予算査

定の心構えを上司や先輩方から学びました。

また、関東財務局に出向して地方銀行の監督業務(銀行の実態把握や対話等を通じたモニタリングの実施等)を担当した時には、日本振興銀行の破綻に直面しました。金融機関が破綻した際、預金者1人当たりの払い戻しを元本1,000万円までとその利息とする「ペイオフ」が初めて発動された破綻事案であったため、店舗で取り付け騒ぎが起きていないか確認する等、課内総出で対応しました。銀行破綻が経済・社会に与える影響の大きさを痛感した出来事でした。

係長時代

係長時代は、東日本大震災や新型コロナウイルス感染症といった未曾有の事態が起こった時期であり、私は主計局で予算編成業務の最前線で査定を行っていました。災害・有事対応の補正予算編成では、現場のニーズを的確に把握し、それを迅速に届けることが必要ですが、前例のない事態への対応に大変苦労しました。それでも、財政を通じて困っている方々を支援することができた、という主計局ならではの達成感がありました。

また、主計局厚生労働係では、こども・子育て予算を担当しました。当時は、女性就業率の上昇等により保育ニーズが増加し、

こどもが保育所等の入所待ちとなってしまう待機児童問題が流行語大賞にノミネートされる時代でした。厚生労働省と議論しながら、待機児童対策の一環として、保育施設を事業所内に設置する「企業主導型保育事業」を創設しました。この事業は「事業主拠出金」を財源として、従業員の多様な働き方に応じた保育を提供する企業等を支援するものです。企業主導型保育施設は令和6年4月時点で全国に4,338施設あり、約10万人の保育の受け皿となっていることを、当時の担当者として誇りに思っています。

課長補佐時代

課長補佐1年目に在サンフランシスコ日本国総領事館に出向しました。総領事館の業務には、政治・経済等の情報収集、在留邦人へのパスポート発給や外国人へのビザ発給等があります。赴任時は新型コロナウイルス感染症により人・モノの流れが止まっていましたが、状況が改善し、日本の入国制限が緩和されると、シリコンバレーの企業からビジネス目的のビザ申請が大量に押し寄せてきました。さらに在留邦人の帰国需要も加わり、ビザやパスポートの発給に追われる日々となりました。「命のビザ」で知られる杉原千蔵を勝手に自分と重ねながら、国境を越えた



これからのキャリアの展望について

主計局長は予算策定に際し、日本にとって何が最善なのかを考えながら政策判断をしています。こういった一連の政策決定過程を間近で拝見し、多くの事を学ばせていただいているので、この貴重な経験を私自身の今後のキャリアパスに活かしていきたいと思っています。

また、仕事だけでなく、私生活も充実させたいと思っています。私には野球をやっている二人の息子がいます。アメリカ赴任中の話を一つご紹介すると、息子は住んでいたフォスターシティを代表する野球チームの一員として、ベースボールの聖地であるクーパーズタウンで開催される大会に出場す

ることとなり、アメリカ人のチームメイトやその家族と共に、夏休みを利用して東海岸に家族揃って10日間の遠征をしました。帰国後も息子達は野球をやっていて、私は週末に息子達の練習の手伝い等をしています。こういった家族と過ごす時間も、仕事同様に大切にしたいと思っています。皆さんにとっての財務省のイメージは様々あるかと思いますが、このパンフレットが財務省に足を運ぶ一助となれば幸いです。

START

入省

部署異動!

地方勤務!

昇進!

昇進!

海外勤務!

平成16年4月
大臣官房
秘書課

平成16年7月
理財局
国債業務課

平成19年7月
主計局
総務課

平成21年7月
関東財務局理財部
金融監督第1課へ出向

平成23年7月
主計局
厚生労働総括係調査主任

平成24年7月
主計局 総務課
歳入・国債係長

平成26年7月
主計局
厚生労働第一係長

平成28年7月
主計局 総務課
予算総括第二係長

平成30年7月
主計局 総務課
予算総括第一係長

令和2年6月
外務省在サンフランシスコ
日本国総領事館へ出向

令和5年7月
主計局 主計官補佐
(厚生労働第六係、
厚生労働第七係担当)

令和6年7月
主計局 総務課
課長補佐

財務省のキャリアパスを知る 係長級



理財局
内閣・財務係調査主任
佐竹 千尋
SATAKE Chihiro
[平成29年入省]

現在の業務内容

私は現在、理財局において、財政投融资計画の編成・執行業務を行っています。財政投融资はその名の通り「投資・融資」であり、原資の回収を前提とした資金の供給であるため、「この事業にお金が必要か」というシンプルな視点からもう一步踏み込んで、「融資した資金は確実に返済されるのか」「投資による収益は見込めるのか」という点をも見極める必要があります。基本的な事業の仕組みの理解に加えて、日進月歩な金融の世界、マーケットの状況などを踏まえた判断が求められるため、日々勉強の毎日です。

主計局時代

入省後、最初に配属された主計局では、主に厚生労働省の予算編成業務に携わりました。係員といえども、割り振られた分野や事業の予算は自分が担当するため、自ら責任をもって査定し説明することが求められます。自分の知識や経験の不足をもどかしく思うことも多くありましたが、周りの方々にサ

ポートしていただきつつ、予算の閣議決定、成立というゴールに向かって走り抜けた先の達成感は、それまでの人生で感じたことのないものでした。尊敬する上司、先輩方に囲まれ、「いつか自分もこうなりたい」と思いながら、社会人としての礎を築いた3年間でした。

秘書課時代

大臣官房秘書課では、職員の人事や本省一般職の採用業務を担当しました。国家公務員の仕事は、組織として部下から上司へと説明や決裁の手順を踏んでいくことが多いですが、採用活動は受験生の方々と顔を突き合わせての一对一の関わり

合いであり、自分の言葉をダイレクトに伝えることができます。受験生と目線の近い若手職員が中心となり、財務省の魅力をリアルに伝えるにはどうしたらいいかと頭を悩ませアイデアを出し合ったことは、かけがえのない経験です。

理財局時代

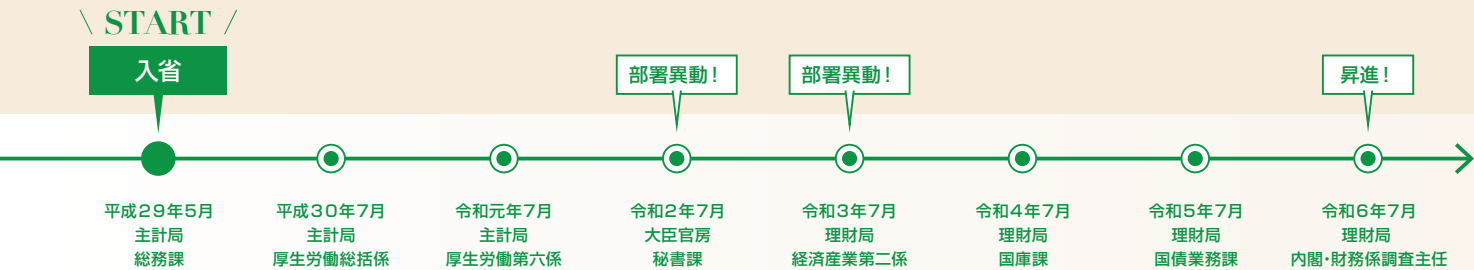
理財局では、国の歳入の一部をまかなう国債の管理政策を所掌しています。国債発行のフロントラインである国債業務課では、主に証券会社や銀行が参加する国債の入札に関する業務を担当しました。国債が流通する債券市場は国内外の様々な要素で日々変動しており、安定的な資金調達の高さを実感

しました。また、通貨制度を所掌する国庫課では「CBDC(中央銀行デジタル通貨)」に関する有識者会議」の設置に携わりました。「理財」には“財貨を有効に運用する”という意味がありますが、その業務は多岐にわたり、それぞれの分野において高い専門性を有する職員の活躍を目の当たりにしました。

財務省本省一般職のキャリアパスの魅力について

これまで経験したいずれの部署においても、「お金・財」という政策ツールを持つ財務省の業務の影響力の大きさ、ダイナミズムを肌で感じました。一貫性のないキャリアパスに見えるかもしれませんが、主計局での予算編成の経験、国債業務課で得たマーケットの知識、国庫課で制度立案のプロセスに触れたことは、今の業務に大いに活かされています。

今後はより専門性を高め、深度のある知識を身につけていく必要がありますが、その時折で研修の場もあり、私もこれまで何度も受講の機会をいただきました。やりがい、モチベーションに事欠かない職場です。ぜひ財務省で、一緒に働いてみませんか。



財務省のキャリアパスを知る 幹部職員



四国財務局長
大島 朗
OSHIMA Akira
[昭和58年入省]

略歴

昭和58年4月	大臣官房 調査企画課 資料統計管理室
昭和60年5月	財政金融研究所 総務室
昭和60年7月	大臣官房 秘書課
平成 6年7月	大臣官房 金融検査部 管理課
平成 7年4月	大臣官房 金融検査部 管理課 金融証券検査官
平成 8年7月	理財局 国債課 内国債第二係長
平成 9年7月	中小企業事業団へ出向
平成11年7月	大臣官房 秘書課 人事第三係長
平成13年7月	大臣官房 秘書課 人事第一係長
平成15年7月	大臣官房 秘書課 課長補佐
平成22年7月	金融庁へ出向 (総務企画局総務課課長補佐)
平成26年7月	大臣官房 秘書課 人事調査官
平成29年7月	東北財務局 理財部 次長
平成30年7月	関東財務局 千葉財務事務所長
令和 2年7月	北海道財務局 管財部長
令和 3年3月	北海道財務局 総務部長
令和 4年7月	東海財務局 総務部長
令和 5年7月	理財局 管理課長
令和 6年7月	四国財務局長

四国財務局長としての日々

財務局は財務省の総合出先機関として、また、金融庁から事務委任を受け、財政、国有財産、金融等の施策を地域で実施しています。私は、地方公共団体の首長、経済・金融界のトップ、企業経営者等と「顔の見える関係」を作り、地域の様々な関係者と連携し、地域の課

題解決や地域経済の活性化に向けた取組を支援しています。

他方、組織の中に目を向ければ、組織のリーダーとして、職員が意欲を高め、持てる能力を存分に発揮できるよう、働きやすいオープンな職場環境の醸成に努めています。

財務省職員として働く上で大切にしていること

財務省職員として、日頃から国民の信頼を礎とした透明性の確保と説明責任を重視しています。公平で持続可能な財政運営を目指す中で、社会の変化を敏感に捉え、柔軟で創造的な政策設計を行うことが重要です。

業務運営では、組織全体の力を最大限に引き出すために、部下の優良な意見や提案を尊重するなど、若手職員の育成に注力していま

す。また、組織としての一体感や結束力を高め、生産性の高い仕事をするためには「チームワーク」が重要です。必要な情報は組織で共有し、職員一人ひとりがそれぞれの思いを口にして議論を交わし、チームとして課題に取り組み、成果を出す、というプロセスを活性化させています。

財務省の魅力について

まず、財務省に勤務して思うのは、財務省の業務は幅広く、国民の生活や経済に直結した国の在り方を意識できる職場であり、文字通り「国家公務員」としての使命感を体感できる職場だということです。自分の仕事、やりたいことが日本社会への貢献、さらには国際的な視野を育むということであれば、この職場に携われるということは大変幸せなことだと思います。

そして財務省の魅力は、国家財政を支える使命感と、それに携わる職員の卓越した姿勢にあります。これまで多くの職員と関わる中で感じたのは、一人ひとりが「国民生活の向上」に向け、深い専門性と責任感を持って仕事に取り組んでいることです。また、課題解

決に向けて組織全体が柔軟かつ迅速に連携し、政策形成に取り組む姿勢も財務省の大きな強みです。さらに、グローバルな視点で日本の未来を考え、国際社会と連携する業務の多様さも魅力の一つです。受験生の皆さんには、このようなやりがいある環境で自身の能力を活かし、成長し続けるキャリアを目指してほしいと思います。



国際通貨基金(IMF)
能力開発局
シニアテクニカル
アシスタンスオフィサー
川野 晋平
KAWANO Shimpei
[平成22年入省]



日本の外から
開発援助の
ダイナミズムを

現在の業務内容

私は現在、米国ワシントンD.C.にある国際通貨基金(IMF)の職員として、加盟国、特に低所得国や脆弱国の政府当局向けに実施するIMFの技術支援や研修に関連する資金調達業務に従事しています。IMF内の関係各局との日々の議論を通じて、能力開発の受益国が直面する政策課題を理解し、それを踏まえた上で、先進国や新興国などのカウンターパート(財務省、外務省、政府援助機関等)に対して、IMFの能力開発支援がもたらす効果やインパクトについて説明し、資金提供の意義を理解してもらうとともに、パートナーシップを締結します。また、IMF・世界銀行の年2回の総会では、能力開発のイベントを複数主催するなど対外的な広報活動も担当しています。

現在の業務内容

私は、中国財務局管財部において、広島県に所在する国有地の管理処分業務を担当しています。国有地の管理処分業務は、売却、貸付、所管確認、維持管理等多岐にわたります。国有地の売却は、原則として一般競争入札により行われることとなりますが、入札財産とするためには、常時の適切な管理に加えて土地の境界確定や測量等、様々な事前準備が必要です。そのため、実際に現地に赴き、異常がないか自分の目で確認をするともに、土地家屋調査士等の専門家や国有地管理の委託業者等と日々連携を図りながら、業務を行っています。

また、個人が所有していた土地を国有地として引き受けることもあり、引き受けにあたって障害となる要因の有無や内容を精査し、弁護士等の専門家や地方公共団体と調整を重ねながら、対応方針を検討し事案を進めることにも関わっています。

出向によって得られた経験や印象的な業務

赴任直前、国際機関への出向経験がある財務省の上司からチャレンジ精神の重要性を意識するよう助言されましたが、同様の点をIMFの上司も強調しています。私自身、加盟国の代表者で構成される理事会に向けた能力開発の資金調達業務の戦略に関する資料作成や債務管理に関する技術支援ミッションに手を挙げ、その機会を実際に得ることができました。このような機会は、自身の強みをアピールし、実際に声を上げて主張しなければ実現しなかったかもしれません。また、出張等の機会に、能力開発の受益国の政府高官(財務大臣や中央銀行総裁)も出席する中でプレゼンテーションを行う機会もあり、国際舞台での仕事の醍醐味を実感しています。こうして培った経験は、今後の職業人生において大いに役立つと考えています。

出向によって得られた経験や印象的な業務

特に強く印象に残っている業務は、地積調査に携わったことです。地積調査とは、専門家による土地測量、土地境界点の現地確認を経て、正確な地積図等を作成する業務であり、国有地のうち地積図が確定していない土地について、市町村から現地確認の依頼を受けることがあります。私が担当した事案は山間部にある国有地の確認で、周辺の草を鎌で刈りながら木の枝をかきわけ、境界点等を確認するという、行政の最前線における実務経験となりました。

そのほかにも、国有地の売却や他省庁からの引継引受など様々な業務に携わりましたが、いずれの業務も、本省が制定した法律や各種規則、対処方針に基づいて行われており、本省で政策立案や法令規則等の制定をする際には、実際に現場で働いている財務局等の声にもよく耳を傾けることが、適切かつ効率的な行政執行にとって大切であることを身をもって感じました。

国有地から
地域課題の
解決を図る

中国財務局 管財部
国有財産鑑定官心得
兼 統括国有財産管理官付

木村 聖哲
KIMURA Toshiaki
[平成30年入省]



財務省職員の活躍するフィールド

令和7年3月1日時点で約200名の財務省職員(留学を除く)が世界各地の在外公館や国際機関等でグローバルに活躍しています。また、国内各地の地方支分部局や地方公共団体でも多くの職員が活躍しています。

世界各地



JETRO事務所	JBIC事務所	JICA事務所	JOGMEC事務所	東京事務所
ロサンゼルス チェンナイ ジャカルタ	香港 バンコク ホーチミン	ロンドン ワシントン シンガポール	ミャンマー バンクーバー	ADB(アジア開発銀行) AfDB(アフリカ開発銀行) EBRD(欧州復興開発銀行) IBRD(国際復興開発銀行)
		サンフランシスコ		IFC(国際金融公社) IMF(国際通貨基金) WCO(世界税関機構)



日本国内

